

建築学科

建築構造・設備実習 1

対象	2年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	大池俊樹			実務経験	有	職種	構造設計				

授業概要

構造設計に必要な基礎知識、照明・配線など電気設備の基礎について学習する。

到達目標

次の3点を到達目標とする。①軸組模型作成を通して、在来工法の仕組みと各部材の納まりを理解し、精度の高い模型を完成させる。②設備図を読み解き、配線、配管の経路とそれとの役割について理解する。③実際設置されている設備と設備図を見比べ理解を深める。

授業方法

実際の設備図、構造図をもとに講義と実習を中心に講義を進める。構造については模型用の角材を加工、組み立てを行い、設備については設備図をもとに生活する上で必要不可欠な水、ガス、電気、空調がどのように計画されているのかを読み解き、キャンパス内の設備を見学することで実際に目で見て理解を深め、図面に着色する等の課題を実践、提出、教員の評価を通して理解度を深める。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。

履修上の注意

授業には集中して取り組み、見学等で移動する際は教員の指示に従うこと。安全のためむやみに機器に触れないこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

初学者の建築講座建築設備市ヶ谷出版／第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善出版

回数	授業計画
第1回	ガイダンス、木造軸組工法とは
第2回	木造軸組模型作成①
第3回	木造軸組模型作成②

第 4 回	木造軸組模型作成③
第 5 回	木造軸組模型作成④
第 6 回	木造軸組模型作成⑤
第 7 回	木造軸組模型作成⑥
第 8 回	木造軸組模型作成⑦
第 9 回	設備実施図の解説①
第 10 回	設備実施図の解説②
第 11 回	設備実施図の解説③
第 12 回	設備図の作成①
第 13 回	設備図の作成②
第 14 回	設備図の作成③
第 15 回	キャンパス内設備見学